

## — ポルトガル語 —

### 1) ポルトガル語・日本語辞典

日本語との対訳辞書は少なく、上級レベルまでの使用に耐え得るものとしては以下の3種類しかない。

①『[現代ポルトガル語辞典 改訂版](#)』、池上岑夫他編、白水社、2005年初版、1465頁、6800円

②『[ポルトガル語小辞典](#)』、浜口・佐野編、大学書林、1970年初版、633頁、4500円

③『[葡和新辞典](#)』、大武和三郎著、昭和12年、1127頁(図書館注:旧分類図書 P:I:1116 あり)

①はやや本格的で語数も多く、②は携帯に便利な小振りのもので、ポルトガル語を本格的に学ぼうとする人は①を使用すべきであろう。③は、ポルトガル語研究史上伝説的な辞書で、昭和49年頃までは印刷されて、市場に出回っていたが、現在ではほとんど入手が不可能であろう。語数が多く、ポルトガル語の古典的な歴史文献などを読むときにはかなり便利な辞書である。ちなみに、著者の大武和三郎は、ポルトガル語との関わりで数奇な運命を辿った人物できわめて興味深い。

### 2) 日本語・ポルトガル語辞典

いくつか複数なものがあるが、学習者に勧められるのは以下。

④『[日本語 ブラジル・ポルトガル語辞典](#)』、日向ノエミア編、三省堂、2010年、864頁、2940円

日本語から引くポルトガル語の辞書を用いる場合、ポルトガルとブラジルでは表現が異なるので、場合によってはお互いに通じないことも多いということに注意しなければならない。

### 3) その他の対訳辞書

⑤ [The Collins Portuguese Dictionary](#)、John Witlam 他編、Harper Collins Publishers、1991年初版、759頁、3000円くらい

⑥ [A Portuguese-English Dictionary](#)、James L. Taylor 著、スタンフォード大学出版局、25×17、5cm、1巻本、662 ページ、1958

⑦ [Grande Dicionário de Português / Francês](#)、1巻本、ページ数1432ページ、1989<sup>o</sup>、Bertrand Editora、リスボン

⑧ [Langenscheidts Taschenwörterbuch Portugiesisch](#)、Friedrich Irmen 編、

Langenscheidt、1982年改定新版、1247頁、3000円くらい

⑤は英語との対訳辞書(英葡、葡英)で、さらにポケット版(1992)と超小型版(1993)があり、語数がやや少なめであるが便利な辞書である。ブラジルのポルトガル語を対象とし、発音記号もついている。⑥はポルトガル語・英語辞典の決定版とも言えるもので、かつてはかなり高く評価されていたが、現在ではやや時代遅れとなっているところもある。⑦は、有名なポルトガル語・フランス語辞書。⑧は動詞の形態論のまとめかたがすぐれているがドイツ語との対訳なので、あまり一般に勧められないのが悔やまれる。特に小型の辞書の選択で注意しなければいけないのは、記述の対象であるポルトガル語がポルトガルのものかブラジルのものかという点である。ポルトガル語は大西洋の両側で多少異なり、語彙のレベルでは生活語彙とでもいえるような語で語形や意味が大きくずれていることがあるので初級者には厄介である。上では⑤と⑥はブラジルのポルトガル語を対象とし、⑦と⑧はポルトガルのポルトガル語の辞書である。どれも一長一短であるので、ある程度学習が進んだ段階で葡葡辞典を使えるようにしておくとうい。

#### 4) ポルトガル語辞典

ポルトガル語の本格的学習のためにはポルトガル語でポルトガルを調べる辞書が必要になる。中辞典クラスのものとしては以下のものが重要である。

⑨ [\*Novo Dicionário da Língua Portuguesa\*](#)、Aurélio Buarque de Holanda Ferreira 編、Nova Fronteira、1986年2版、1838頁、4万円?くらい。

⑩ [\*Dicionário Houaiss da Língua Portuguesa\*](#)、Antônio Houaiss (1915-1999)編、初版、LXXXIII + 2925ページ、語数は228500語)、2001年

⑪ [\*Micaelis Moderno Dicionário da Língua Portuguesa\*](#)、初版、XII + 2259ページ、語数20万語

⑨、⑩、⑪は、20世紀後半のブラジルでの近代的辞書編纂方法に踏まえて作られたもので、いずれも優れている。そのなかでも⑩が一番新しく内容的にも網羅的なので、ポルトガル語を専門とする者にとっては必携の書であろう。⑨と⑩には CD で流布している電子版がある。

中辞典クラス以上になると、ポルトガルのポルトガル語もブラジルのポルトガル語も等しく網羅するが、⑫はポルトガルで最新のコーパス研究に基づいて編纂されたものである。

⑫ [\*Dicionário da Língua Portuguesa Contemporânea da Academia das Ciências de\*](#)

[Lisboa](#)、26×18cm、全2巻、総ページ数LXIII + 3809ページ、見出し語総数 69426語、ヴェルボ出版社 Editorial Verbo、リスボン、2001年

⑬ [Grande Dicionário da Língua Portuguesa](#)、30×22cm、1巻本、辞書部分ページ数1622ページ、Porto Editora、2004年

⑭ *Novo Dicionário Compacto da Língua Portuguesa*、António de Moraes Silva 他編、Editorial Confluência、1987年3版、5巻本、2658頁、6万円?くらい ([1980年初版](#))

⑮ *Dicionário da Língua Portuguesa - Dicionários Editora*、Porto Editora 2010 ([1994年7版](#))

⑭はポルトガル語の辞書のなかで最高峰と言われるモライス・シルバの第10版である、『ポルトガル語大辞典』 *Grande Dicionário da Língua Portuguesa* (24.5×17.5cm、全12巻、各巻は1000ページ前後で各ページ72行2段組、前ページ数12278ページ、1巻目が1949年に出版され、その後、年一冊見当で出版され12巻目が完結したのは1959年、語数は306、949語とされる、リスボン:コンフルエンシア社)の、用例の部分だけを削除して作られた簡約版で、出版的には詐欺であると評する研究者もいるが、古典期以降のポルトガル語を扱う者にとってはきわめて便利な辞書である。⑮は、ポルトガルの辞書専門のポルト出版社から出ているもので、ポルトガルのポルトガル語の単語を引くのにはきわめて重宝する。ポルトガルでは最も普及している辞書で毎年改訂版が出る。

## 5) 学習辞典

ポルトガル語の学習を本格的に進めるならば、まず①を準備し、中級レベルに達してから、学習目的に応じて⑨、⑩、⑪、⑫などのポルトガル語辞典を用いるというのが理想的であるが、作文や会話能力の向上のためには次の⑯、⑰のような学習辞典的な性格を備えたものを使うのが便利である。また、前にあげた⑨と⑩にはポケット判に簡約したものがあり便利である。

⑯ *Dicionário Verbo Língua Portuguesa*、2.<sup>a</sup> Edição、Editora Verbo、2008 ([2006年初版](#))

⑰ *Dicionário Didático de Português*、23×15、5cm、1巻本、965 ページ、2 段組、1998、Maria Tereza Camargo Biderman 著、Editora Ática、サン・パウロ

他に動詞や形容詞の支配、つまり他の語との関係での前置詞の有無や、どの前置詞をとるかなどを知るために特化した辞書がある。⑱と⑳は動詞、㉑は形容詞の辞書である。㉒は近代的なコーパス研究に基づいて作られた、厳密で科学的な辞書であり、文法の研究者には必携の書であるが、言語学的なトレーニングを受けていないが学

習者に使いにくいかもしれない。

- ⑱ [\*Dicionário Prático de Regência Verbal\*](#)、Celso Pedro Luft 著、1巻本、544 ページ、アッチカ社 Editora Ática、サン・パウロ、1999
- ⑲ *Dicionário Prático de Regência Nominal*、Celso Pedro Luft 著、Editora Ática、22 × 15cm、1巻本、550 ページ、2 段組、サン・パウロ、1999 ([1992 年初版](#))
- ⑳ [\*Dicionário Gramatical de Verbos Portugueses\*](#)、João Malaca Casteleiro 編、867頁、Texto Editores、2007、リスボン

ポルトガル語の辞書には他にも言及すべきものは多々あるが、入手しやすい代表的なものにとどめた。また、ブラジルでもポルトガルでも文学や言語関係のホームページには無料のオンライン辞書がある。最近では、iPhone や iPod、iPad 版の辞書も多く出ている。

(2011年2月 黒澤 直俊)